

## 冬に向けて災害への備えを

災害時の被害を最小限にするには日頃の備えが肝心です。冬に向けて家庭での防災対策を見直しましょう。

### 寒さ対策を万全に

冬季に災害が発生し、避難所などへ避難をする場合、防寒着を含めて最低1泊分の冬装備が必要です。安全を確保し自宅に残る場合でも、被災直後は停電する可能性が高いので、電池式暖房器具やカセットコンロなどの備えがあると安心です。

非常品などは定期的に点検し、使える状態になっているかを確認しましょう。

### 冬の必需品

- カセットボンベや灯油式のものなど、電気を使わないポータブルストーブ
  - 毛布や寝袋
  - 使い捨てカイロ
  - 防寒着や温かい衣類、帽子、手袋など
- \*暖房や調理などで使う、カセットボンベは多めに用意しましょう。



### 季節を問わず必要な備え

- 食料、飲料水
  - カセットこんろ、カセットボンベ
  - 懐中電灯やランタン、乾電池など
  - 携帯用ラジオ
  - 衣類、タオル
  - モバイルバッテリー
  - 普段飲んでいる薬や常備薬
  - 衛生用品（マスク・アルコール消毒液・体温計など）
- \*おむつ、ペット用品など家庭の事情で必要な物も用意しましょう。

### 車も冬の装備に

雪が積る前にスタッドレスタイヤに交換するほか、長靴やスコップ、牽引ロープなどを用意しておきましょう。悪天候で車が立ち往生した場合に備えて、使い捨てカイロや毛布、飲料水などがあると安心です。

災害で電気やガスが使えないときに、寒さをしのぐ場所として、一時的に自家用車に避難することも想定されます。ガソリンなどの燃料は早めに給油しておきましょう。

**問合せ** 危機管理課（内線3344）

## 水道管の凍結に注意

寒さが厳しくなると水道管の凍結が増えます。水道管が凍結すると、水道が使えなくなるだけでなく、修理代など思わぬ出費につながります。凍結の恐れがあるときは、昼夜を問わず水抜きをしましょう。

### こんなときは要注意

- 気温がマイナス4℃以下のとき
- 一日中、気温が氷点下の真冬日が続いたとき
- 旅行などで長期間水道を使用しないときや、空き家を管理しているとき（漏水事故を防止するためにも、季節に関わらず水抜きをしましょう）



### 凍結してしまったときは



水道管や蛇口などにタオルを巻き付け、上からぬるま湯をゆっくりかけます。熱湯を直接かけたり、直火を当てたりすることは絶対にやめましょう。水道管や蛇口が破裂する危険があります。

30分ほど待っても水が出ないときは、市の指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。費用は自己負担です。

指定給水装置工事業者が分からないときは、問い合わせてください。市ホームページ「くらしの情報→上下水道→水道・下水道事業者一覧」からもご覧になれます。

### 水抜きをするとき

- ①蛇口を開け、水を流す
  - ②水抜き栓のハンドルが止まるまで右に回す（レバーの場合は「止」の方向に操作する）
  - ③空気入れ蛇口がある場合は、全開にする
  - ④しばらくしてから空気入れ蛇口と蛇口を閉める
- \*給湯器の水抜きは、取扱説明書に従ってください。

### 水を出すとき

- ①空気入れ蛇口と蛇口が閉まっていることを確かめる
- ②水抜き栓のハンドルを止まるまで左に回す（レバーの場合は「出」の方向に操作する）
- ③蛇口をゆっくり開ける

空気入れ蛇口 立ち上がり管 中間バルブ



### 水抜き栓とは…

水道管の水を抜くための装置です。設置されている場所は、家庭によってさまざまです。普段から、水抜き栓の場所と動作を確認しておきましょう。

**問合せ** 水道施設課（内線4311）